

大医薬発第 92 号

2026 年 8 月 14 日

国公立医科大学長
国公立大学医学部長 殿
各関係機関の長

大阪医科薬科大学

学 長 佐野 浩一

(公印省略)

医学部 予防・社会医学講座

衛生学・公衆衛生学教室担当教授候補者の推薦について（依頼）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本学医学部では、別紙の要領により、予防・社会医学講座 衛生学・公衆衛生学教室担当教授候補者を公募することになりました。

今回の選考では、予防・社会医学を専門とする医師で、衛生学・公衆衛生学領域における教育研究及び社会連携に造詣の深い方を求めます。

つきましては、ご多用のところ恐縮に存じますが、関係各位へのご周知方並びに適任者がおられましたらご推薦方お願い申し上げます。

謹白

※教室名を現在の「衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ教室」から「衛生学・公衆衛生学教室」に変更予定であり、1.5 教室分の人員配置と研究費の配分を行っていますが、2027 年度以降は 1 教室分とする予定であることを申し添えます。

※予防・社会医学講座は、この度公募する衛生学・公衆衛生学教室のほか、微生物学・感染制御学教室、法医学教室、医療統計学研究室により構成しています。

<別紙>

募集要領 1 通

大阪医科薬科大学
医学部 予防・社会医学講座 衛生学・公衆衛生学教室
担当教授候補者 募集要領

1. 募集内容

医学部 予防・社会医学講座 衛生学・公衆衛生学教室

担当教授 1名（予防・社会医学を専門とする医師で、衛生学・公衆衛生学領域における教育研究及び社会連携に造詣の深い者）

着任時期 2027年4月1日（予定）

2. 応募資格

本学の教授には、次に掲げる要件を求めます。

- (1) 豊かな人間性、高い倫理観及び社会性を備える者であること。
- (2) 自らの役割を理解し、本学の組織運営及び社会活動に協調性をもって自律的、主体的に貢献できる者であること。
- (3) 教育、研究、医療への造詣と情熱を有し、健康であってその職責を果たすことができる者であること。
- (4) 教員規則に定める教授の資格を有する者であること。

＜教授の資格＞

本学の教授は、次のいずれかに該当し、かつ、教授の役割（専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。）を担うことができる者とする。

- ・博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者。
- ・大学において教授、准教授又は専任の講師の経歴（外国におけるこれらに相当する教員としての経歴を含む。）のある者。

このような基本的要件に加えて、次の全ての要件を備えた者であることを求めます。

- (1) 衛生学・公衆衛生学において卓越した業績を有する者。
- (2) 自身の専門分野だけでなく、衛生学・公衆衛生学全般を網羅する体制を構築し、教室を適切に運営・発展させることができる者。
- (3) 関連教室・診療科・センター、自治体・行政機関等と密接に連携でき、積極的に協働できる者。
- (4) 医師免許を有する者。

3. 教育研究内容

衛生学・公衆衛生学に優れた研究業績と深い学識を持ち研究を推進いただくとともに、衛生学・公衆衛生学に関する医学教育を担当いただく（大学院における教育・研究指導を含む）。

4. 提出書類

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 研究業績
 - ①研究業績一覧（様式2-A）
 - ②研究業績一覧（様式2-A 別紙）
 - ③研究業績集計一覧（様式2-B）
 - ④主要論文（別刷；コピー可）5編 1部
- (3) 教育業績（様式3）
- (4) 教育・研究の概要と抱負
（様式4-要約 各200字程度、様式4-A、様式4-B）
- (5) 衛生・公衆衛生に関する活動の概要と抱負（様式5-要約 200字程度、様式5）
- (6) 推薦書（様式6）
- (7) 同意書（様式7）

注1：応募については自薦・他薦を問いませんが、自薦の場合につきましても必ず他者からの推薦書（様式6）を提出してください。なお、他薦の場合には必ず推薦に対する同意書（様式7）

を提出してください。

注2：上記様式は、本学ホームページ（URL：<https://www.omp.ac.jp/about/recruit/eisei.html>）からダウンロードしてご使用ください。なお、書類作成にあたっては、同ホームページに掲載する「記載要領」をご確認ください。

注3：封筒の表に「医学部 予防・社会医学講座 衛生学・公衆衛生学教室担当教授応募書類在中」と朱書し、郵送の場合は書留便（レターパック可）としてください。

注4：ご提出いただきました書類の個人情報については、医学部 予防・社会医学講座 衛生学・公衆衛生学教室担当教授選考の目的以外には使用しないことをお約束いたします。

注5：主要論文を含む応募書類は返却いたしません。主要論文の返却を希望される場合は、返信用封筒を同封してください。

5. 提出期日

2026年9月17日（木）正午 必着

6. 提出先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学人事部人事課気付

医学部 衛生学・公衆衛生学教室担当教授選考 教員人事委員会

Tel: 072-683-1221（代）内線 2992（担当：人事課 藤原・余村）

7. その他

- ・本学では、教授のテニユア制度（テニユアトラック期間5年）を導入しており、必要な審査を受けて任期のない教員（定年制度を適用）となることがあります。
- ・大学院担当については、別途、医学研究科教授会において審議を行うことになっています。
- ・選考の過程でご来学いただき、面談（11月中旬を予定）、プレゼンテーション（12月初旬を予定）を実施いただくことを計画しています。また、必要に応じ、別途資料の提出やその他実施いただく場合があります。
- ・男女共同参画社会基本法を遵守し、教員の選考を行います。また、本学における女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。（<https://www.omp.ac.jp/smart/index.html>）

以上

大阪医科薬科大学 求める教員像

1. 優れた人格と豊かな人間性を備え、人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める者
2. 専攻分野について、優れた教育研究指導上の能力と実績及び経験を有し、教育及び研究に対して明確な抱負を持つ者
3. 各学部及び各研究科の「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」（以下、「3ポリシー」という。）の重要性を理解し、教育研究活動を推進できる者
4. 高い倫理観・道徳観に基づき、公正・公平な教育研究活動と真摯な学生支援が行える者
5. 地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心と熱意を持って活躍し、新たな研究分野の開拓に取り組める者
6. 社会貢献の意識が高く、教育研究成果を社会に積極的に還元できる者
7. 自己の資質向上を目的に、変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続け、また、他者と円滑に協働できる者
8. 大学をめぐる社会的動向への関心を有し、大学の発展のために協調性をもって自律的、主体的に大学運営に参画できる者